

足湯と手湯

下呂温泉街のあちこちに9つの足湯が点在しており、このうちの7つは無料で利用でき、一般に開放されています。4つのお湯は24時間、訪れる人々に開放されています。温泉街は、わずかな料金で温泉浴を提供する伝統的な旅館で溢れ、カフェや地元のお菓子を販売する露店が立ち並び、歩きやすい通りになっています。足湯を楽しむのは、この地区を巡る上での心地良い休憩になります。

それぞれの足湯には、独自のスタイルがあります。ビーナスの足湯は、底に伝統的な石ではなくパールタイルを使ったヨーロッパがテーマのお湯で、一方の下呂で最初に出来た足湯の鷺の足湯には、檜の装飾が施されています。飛騨川沿いの、下呂大橋の隣にある公衆露天温泉風呂の噴泉池も、足湯としての機能を果たしています。

下呂には手湯もあります。足湯ほどありふれた場所ではありませんが、この地区の癒しの水を体験する、また違った方法を提供してくれます。手湯は温泉神社やJR下呂駅前などの場所で提供されています。